

## 1 地域アクションプランの第1-4四半期の実施状況（総括）

(1) 総評（以下、（ ）内のNoは、関係する嶺北地域アクションプランの項目番号）

ア 全24項目について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を実施

イ 動きのあった主な取組

- ・土佐町の集出荷システムは、同町の地域雇用創造実現事業が22年度末で終了することに伴い、土佐町雇用創造協議会からJA土佐れいほくに引き継がれ、4月1日からJA土佐れいほくが事業を開始した。また、コープかがわでの「れいほくコーナー」が1店舗（観音寺店）増加し7店舗となった。（NO.1）
- ・ユズ加工場が23年3月に完成し、4月からジュース充填ライン、搾汁ライン（機械は小夏を利用して調整）が稼働を開始した。（NO.2）
- ・ブランド米「土佐天空の郷」の生産に向けて43戸で40haと昨年（H22は25戸で20ha）のほぼ倍増の植え付けが行われた。また、産業振興総合補助金を活用して継続した販促活動や施設整備（乾燥機等）に取り組んでいる。（NO.5）
- ・JA出資型法人（株）れいほく未来が、平成23年4月1日に設立され農業経営事業、米粉事業、ライスセンター事業、育苗事業を開始した。また、土佐町の地域雇用創造実現事業が22年度末で終了することに伴い土佐町雇用創造協議会が実施していたポータルサイト事業についても引き継ぎ事業を開始した。（NO.4,7,18）
- ・（株）むらびと本舗が23年3月に第三セクターとなり、はちきん地鶏の生産・販売のほか、大川村和牛生産組合から事業を引き継ぎ、4月1日から大川黒牛の経営を開始した。（NO.9）
- ・木質バイオマスについて、木材加工流通施設整備事業の交付決定を受け、林地残材加工施設（土佐町）、木質バイオマスボイラー1基（本山町）が整備されることとなった。（NO.17）
- ・観光・交流関係について、嶺北地域観光・交流推進協議会を中心に、嶺北観光パンフレット「逢える」の配布・PR、観光ガイド研修（藤澤講師）の実施、ふるさと博セールスキャラバンへの参加など4町村が連携した取り組みを行っている。今後、核となるコーディネート組織を見出していくこととしている。（NO.20）

ウ 進捗状況が遅れ気味のもの

- ・基石茶について、20年産は大手取引先と契約できたが21年産の一部と22年産が在庫となっており、新たな契約先の開拓や新商品の開発（カートカン）などを行っている。今後、産業振興アドバイザー（公認会計士）を導入し財務分析を行い、経営戦略の再構築を行うこととしている。（NO.6）
- ・土佐はちきん地鶏について、10万羽の生産施設の整備は22年度末で完了したが、飼育技術の向上（産卵率・育成率・出荷率・飼料効率）や生産経費の削減等が課題となっている。飼育技術の向上のための現場研修や畜産試験場等の現場指導を行うとともに、関係者（村、（株）むらびと本舗、畜産会、県）で情報共有・検討を行っている。今後、産業振興アドバイザー（公認会計士）を導入し財務分析を行い、経営戦略の再構築を行うこととしている。（NO.10）
- ・れいほくスケルトンについて、中心的な取り組みを行ってきた企業が破綻したことに伴い、事業の継続が不透明な状況となっており、今後、関係機関等で調整を行う。（NO.12）
- ・とき千里について、現地における米粉パンの製造・販売が一時休業していたこと等により売上額が停滞している。米粉パンの製造・販売の再開や嶺北地域の野菜のとき千里への出荷・支援体制が整ったことから、今後、計画に沿った売上額となるよう支援していく。（NO.19）
- ・白髪山、工石山を活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組について、推進団体の立ち上げが遅れており、現在、関係者・機関等と推進団体の設立に向けた協議を行っている。（NO.22）
- ・滞在型市民農園の推進による地域の活性化について、施設整備予定地の用地交渉は順調なものの、各種法手続（都市計画法、農地法）の協議に期日を要しており、早急な取り組みが必要となっている。（NO.24）

(2) 補助金及びアドバイザーの導入状況

地域アクションプランの項目名	補助金	アドバイザー
・米のブランド化による稲作農業の展開 (No. 5) ※本山町特産品ブランド化未来創造構築事業として、産業振興総合支援事業採択	(総)	
・(株) 大豊ゆとりファームを核とする基石茶等の地域資源を活用した産業再生への取組 (N06)		(導入予定)
・土佐はちきん地鶏を活用した新しい産業の展開 (N010)		(導入予定)
・木質バイオマス利用拡大の取組 (No. 17) ※木材加工流通施設整備事業 (加速化基金)	(国)	
・土佐産直サテライトセンター (とさ千里 (大阪)) の活性化による地産外商の拠点づくり (No. 19)		導入

※ 補助金：(総) 県産振総合補助金 (県) その他県単補助金等 (国) 国庫補助金等

(3) 具体的な動き

① 地域の重点的な取組

重点的に取り組む施策	取組状況 (課題、結果、成果等)
<p>“れいほく” ブランドの園芸産地の確立及びユズ加工の拠点化 「れいほく八菜」、「れいほく八恵」、「れいほく八花」などの振興</p> <p>【プラン名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れいほくブランドの園芸産地の確立 (No. 1)</li> <li>・ユズ産地の確立と加工拠点づくり (No. 2)</li> </ul>	<p>【れいほくブランドの園芸産地の確立 (No. 1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株) れいほく未来での研修事業実施承認</li> <li>・土佐町の集出荷システムは、土佐町雇用創造協議会から J A 土佐れいほくに引き継がれ、4月1日から J A 土佐れいほくが事業を開始</li> <li>・コープかがわでの「れいほくコーナー」が1店舗 (観音寺店) 増加し計7店舗となる</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れいほく八菜の販売額 H22 年度実績 約 2.2 億円 (H23 目標値 : 3.5 億円)</li> <li>・れいほく八花の販売額 H22 年度実績 約 1.1 億円 (H23 目標値 : 1.1 億円)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業担い手の育成</li> <li>・基幹品目の栽培確立</li> <li>・集出荷システムの継続・充実</li> <li>・れいほくコーナーでの販売増</li> </ul> <hr/> <p>【ユズ産地の確立と加工拠点づくり (No. 2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新加工場の稼働開始 (ジュース充填設備の稼働、搾汁設備は小夏を使用して調整)</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ加工品の販売額 H22 年度実績 約 4.5 億円 (H23 目標値 : 4.5 億円)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ加工品の販路拡大</li> <li>・安定したユズ生産</li> </ul>

重点的に取り組む施策	取組状況（課題、結果、成果等）
<p>肉用牛産業の経営安定化及び新たな畜産業の展開  「嶺北牛」の振興及び「土佐はちきん地鶏」の定着</p> <p>【プラン名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肉用牛飼育の競争力の確保による肉用牛産業の再興（No. 8）</li> <li>・大川黒牛の再興による地域の活性化（No. 9）</li> <li>・土佐はちきん地鶏を活用した新しい産業の展開（No. 10）</li> </ul>	<p>【肉用牛飼育の競争力の確保による肉用牛産業の再興（No. 8）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公営牧場の適地検討中</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肉用牛（土佐褐毛和種）の販売額  H22 年度実績 約 1.9 億円（H23 目標値：2.3 億円）</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公営牧場の適地選定</li> </ul> <hr/> <p>【大川黒牛の再興による地域の活性化（No. 9）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）むらびと本舗が和牛の事業開始  （H23. 4. 1～）</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肉用牛（大川黒牛）の販売額  H22 年度実績 約 0.65 億円（H23 目標値：1.0 億円）</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）むらびと本舗の事業展開の基盤づくり</li> <li>・生産・販売計画等の検討</li> </ul> <hr/> <p>【土佐はちきん地鶏を活用した新しい産業の展開（No. 10）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産管理（飼育管理票等）の実施</li> <li>・飼育技術向上のための研修等の実施</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐はちきん地鶏の出荷羽数  H22 年度実績 約 5.1 万羽（H23 目標値：10 万羽）</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）むらびと本舗の経営基盤の確立</li> <li>・飼育技術の向上</li> <li>・専用処理施設の検討</li> </ul>

重点的に取り組む施策	取組状況（課題、結果、成果等）
<p>嶺北材の増産及び販路拡大 計画的な路網整備と間伐の 推進、「れいほくスケルトン」 の施工性能の向上等</p> <p>【プラン名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐推進と木材増産による林業振興（No. 11）</li> <li>・「れいほくスケルトン」の性能向上及び販売促進（No. 12）</li> </ul>	<p>【間伐推進と木材増産による林業振興（No. 11）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内町村の担当者会、作業道開設予定地の現地検討会の実施</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐の実施面積 H22 年度実績 892.52ha（計画 1756.8ha）</li> <li>・木材の素材生産量 H21 年度実績 10.1 万 m<sup>3</sup>（計画 8.22 万 m<sup>3</sup>）</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の工場の拡充</li> <li>・間伐、作業道開設の確実な実施</li> </ul> <hr/> <p>【「れいほくスケルトン」の性能向上及び販売促進（No. 12）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心的な取り組みを行ってきた企業の破綻</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れいほくスケルトン販売棟数 H22 年度実績 71 棟（計画 50 棟）</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の事業の方向性の検討</li> </ul>
<p>大型製材工場の誘致</p> <p>【プラン名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型製材工場の誘致による地域材の利用の促進（No. 16）</li> </ul>	<p>【大型製材工場の誘致による地域材の利用の促進（No. 16）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業振興・環境部において、誘致対象企業を訪問・協議</li> <li>・管内町村での情報共有</li> </ul>
<p>ITを活用した新たな商業の展開 地域産品を販売するポータルサ イトの構築</p> <p>【プラン名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産品販売ポータルサイトによる商業展開・情報発信（No. 18）</li> </ul>	<p>【地域産品販売ポータルサイトによる商業展開・情報発信（No. 18）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐町の雇用創造実現事業が 22 年度末で終了したため、土佐町雇用創造協議会から（株）れいほく未来に事業を継承（23.4.1～）</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売手数料等見直しの運営体制の整備・見直し</li> <li>・販売量増に向けた多面的な取り組み（掲載商品の充実、セット商品の開発等）</li> </ul>

重点的に取り組む施策	取組状況（課題、結果、成果等）
<p>地産外商の拠点づくり 土佐産直サテライトセンター (とさ千里)の活性化</p> <p>【プラン名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土佐産直サテライトセンター (とさ千里(大阪))の活性化 による地産外商の拠点づくり (No. 19)</li> </ul>	<p>【土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の拠点づくり(No. 19)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興アドバイザーを導入するなど新たな顧客層開拓の取り組み実施</li> <li>「てんこす」との連携に向けた協議</li> <li>直販野菜の品目・出荷増に向けた助成制度を土佐町が創設</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客、販売額の増加に向けた取り組み</li> <li>必要な直販野菜が流れる仕組みづくり</li> <li>米粉ビジネスの展開を含めて、体制・戦略等の構築</li> </ul>
<p>広域観光の仕組みづくり 広域連携による観光情報の一元 化や観光ルートづくり</p> <p>【プラン名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>嶺北地域の連係による交流人口 の拡大(No. 20)</li> </ul>	<p>【嶺北地域の連係による交流人口の拡大(No. 20)】</p> <p>嶺北地域観光・交流推進協議会での4町村連携した活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>嶺北観光パンフレット「逢える」の配布・PR</li> <li>観光ガイド研修(藤澤講師)の実施</li> <li>ふるさと博セールスキャラバンへの参加</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネートする人・組織等の検討</li> <li>4町村が連携した事業の実施</li> </ul>

② 上記以外の取組(項目名の( )書きは嶺北地域アクションプランの番号)

地域アクションプランの項目名 (プラン名)	取組状況（課題、結果、成果等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>集落営農で元気な地域づくり (No. 3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こうち型集落営農モデル組織は2組織 吉延営農組合(本山町) 22年度末でモデル組織としての活動は終了し集落営農組織 として事業展開(農作業受委託、ショウガ定植等) 伊勢川営農組合(土佐町) 23年度までモデル組織として取り組みを継続中 (農作業受委託、稲作部会の結成等)</li> <li>集落営農組織育成のための町村担当者会、集落説明会の実施等</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農産物販売額(こうち型モデル事業:吉延営農組合) H22年度実績 約300万円(他にブランド米あり) (H23目標値:1,300万円)</li> <li>集落営農組織数 H22年度末実績 7組織(H23目標値:8組織)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園芸品目の導入と定着</li> <li>新たな集落営農組織の仕組みづくり</li> </ul>

地域アクションプランの項目名 (プラン名)	取組状況 (課題、結果、成果等)
<p>・米粉を活用したビジネスの展開 (No. 4)</p>	<p>・(株) れいほく未来による事業展開の開始 (H23. 4. 1～)          ・米粉用の原料米の栽培 (田植え面積 22ha (H21 は 19ha))          ・新商品 (米粉入り半生うどん) の販売開始 (H23. 5. 10～)</p> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉等の販売額              H22 年度実績 約 5,200 万円 (H23 目標値 : 7,000 万円)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売戦略の構築、関西圏も視野に入れた販路拡大 (米と米粉のセット販売等)</li> <li>・米粉加工品の販路拡大</li> </ul>
<p>・米のブランド化による稲作農業の展開 (No. 5)</p>	<p>・産業振興総合補助金の導入 (販促活動、乾燥機等の発注)          ・22 年産米の栽培 (田植え : 43 戸・40ha (H22 は 25 戸・20ha))          ・田んぼアートの田植え実施</p> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・22 年産米生産量 81t (約 2,700 袋)、販売額約 2,900 万円              (H23 目標値 : 7,500 万円)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口の取引相手の確保、直接販売の販路確保</li> <li>・米市場は厳しい状況にあり、品質を向上・確保し、販売戦略をしっかりと立てた取組が重要</li> <li>・生産量・生産者の増</li> </ul>
<p>・(株) 大豊ゆとりファームを核とする碁石茶等の地域資源を活用した産業再生への取組 (No. 6)</p>	<p>・農作業受託の実施、借り入れ農地での野菜等の作付          ・集荷ルート of 1 ルート増 (計 : 6 ルート)          ・碁石茶新商品 (カートカン) の製作準備 (8 月に販売開始予定)</p> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・碁石茶生産量              H22 年生産量 2.8t (H21 は 2.7 t)</li> <li>・碁石茶販売額 (19 年産、20 年産)              H22 年 4 月～12 月実績 約 2,000 万円 (H23 目標値 : 1 億円)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・碁石茶の販路開拓、加工品開発・販路確保</li> <li>・経営戦略の構築</li> </ul>

地域アクションプランの項目名 (プラン名)	取組状況 (課題、結果、成果等)
<p>・J A出資型法人による地域活性化の取組 (No. 7)</p>	<p>・(株) れいほく未来が事業開始 (H23. 4. 1～) 農業経営事業 (トウガラシ、三色ピーマン、米等) 農作業受託事業、米粉事業、ライスセンター事業、育苗事業</p> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営基盤の確立</li> <li>・事業内容の充実・強化</li> <li>・各町村との連携</li> </ul>
<p>・県産材の地域における率先利用 (No. 13)</p>	<p>・大川村物産センターの入札 (内装を改修し木質化) ・本山町営住宅2棟完成</p>
<p>・木工製品の製造・販売による地域の活性化 (No. 14)</p>	<p>【ぼうむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノベルティグッズの販促活動の実施</li> <li>・机・椅子の規格変更の検討 (中小企業組合等活路開拓事業の採択 (全国中小企業中央会))</li> </ul> <p>《実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机・椅子セットの販売数 H22年度実績 110セット (計画200セット)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズによる机・椅子の改良及び販促活動</li> </ul>
<p>・特用林産物 (シキミ、サカキ) の拠点づくり (No. 15)</p>	<p>・共同出荷の打ち合わせ (テスト出荷は7月頃を予定) ・生産者の勉強会の実施 (病害虫対策、束ね方、台切り等)</p> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同出荷への参加者・出荷量の確保</li> <li>・出荷体制 (集荷・配送等) の仕組みづくり</li> </ul>
<p>・木質バイオマス利用拡大の取組 (No. 17)</p>	<p>木材加工流通施設整備事業の交付決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林地残材加工施設 (土佐町)</li> <li>・木質バイオマスボイラー1基 (本山町)</li> </ul>
<p>・濁酒等を活用した地域資源との連携による地域の活性化 (No. 21)</p>	<p>【大豊町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売促進活動の実施 (とさてらす等)</li> </ul> <p>【本山町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1名が酒造製造免許を取得し生産開始(23年4月～)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産農家の拡充</li> <li>・交流事業等と連携した販売・PR</li> </ul>



地域アクションプランの項目名 (プラン名)	取組状況 (課題、結果、成果等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・白髪山、工石山を活用した交流人口拡大による地域活性化の取組 (No. 22)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進組織の設立に向けた協議</li> <li>・天然記念物 (県指定、根下がりヒノキ群) の申請</li> <li>・白髪山ガイド育成に向けた取り組み (現地調査等)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進母体の構築</li> <li>・取組内容の構築</li> <li>・ガイドの養成</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・早明浦ダムを活用した交流人口拡大による地域活性化の取組 (No. 23)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖面利用の事業化に向け、関係者で協議</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進母体の構築</li> <li>・取組内容の検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在型市民農園の推進による地域の活性化 (No. 24)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元説明会の実施、用地交渉</li> <li>・法手続き (都市計画法、農地法等) の関係者協議</li> <li>・運営計画の検討のための先進地視察 (クラインガルテン四万十)</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度内の施設整備に向けた事業推進</li> <li>・運営計画の検討</li> </ul>



## 2 地域アクションプランへの追加・修正項目

該当なし

## 3 地域本部への相談・提案等

- ・セラピーロードの開設について（土佐町内の住民）
- ・ゼンマイの加工品開発について（J A土佐れいほく）

## 4 今後の重点的な取り組み

### （1）産業振興推進総合支援事業費補助金の導入事業のフォローアップ

特に、総合補助金を導入した事業について、産業振興アドバイザーの活用を含め、事業のフォローアップをしっかりと行う。

- ①れいほくスタイル環境保全型ビジネス推進事業（AP1, 4, 19）（21～22年度）
  - ・米粉及び米粉加工品の販売促進
  - ・土佐産直サテライトセンター（とさ千里（大阪））の経営安定
- ②高知県競争力強化生産総合対策事業（ユズ加工施設の整備）（AP2）（22年度）
  - ・ユズ果汁及びユズ加工品の販売促進
- ③本山町特産品ブランド化未来創造構築事業（AP5）（21～23年度）
  - ・ブランド米の生産拡大及び販売促進
- ④おおとよスタイルビジネス創出事業（AP6）（21～22年度）
  - ・碁石茶及び碁石茶加工品の販売促進
  - ・産業振興アドバイザー（公認会計士）を導入して経営分析を実施
- ⑤土佐はちきん地鶏拠点づくり（生産～販売）推進事業（AP10）（21～22年度）
  - ・はちきん地鶏の管理育成技術の確立及び販売促進
  - ・産業振興アドバイザー（公認会計士）を導入して経営分析を実施

### （2）交流人口拡大の取組

「龍馬ふるさと博」の各取組に併せるなどして4町村の連携した取組を行い、嶺北地域の観光・交流人口拡大の取組に関するステップアップを図る。

- ①「龍馬ふるさと博」の事業の積極的な活用等による嶺北地域観光・交流推進協議会の取組強化（AP20）
  - ・ガイド養成研修の開催
  - ・セールスキャラバンへの参加
  - ・新規作成した嶺北観光・交流パンフレットの効果的なPR活動 など
- ②「ゆとりすとパークおおとよ」（花絵巻会場に追加）を核にした地域に人を呼び込む仕組みづくり

### （3）次期計画の新たな素材の掘り起し

地域団体、地域住民、町村等との意見交換会や提案等にアンテナを高くし、次期計画の新たな素材の掘り起しを行う。